

## 社会貢献活動の基本的な考え方

当社およびグループ各社は、金融グループとしての高い公共性を認識し、本業での活動を通じて社会の発展へ貢献することが重要と考えます。一方で、日常業務を通じた社会への貢献に加え、豊かな社会を実現するための『良き企業市民』としての活動も欠かせません。当社およびグループ各社は、『良き企業市民』としての社会的責任を果たすべくさまざまな社会貢献活動も行います。

## 社会貢献活動方針

当社およびグループ各社は、『良き企業市民』としての役割を認識し、豊かで持続可能な社会の実現を目指し社会貢献活動を行います。この社会貢献活動を積極的に行うため、企業で活動を企画・実施するとともに、社員のボランティア活動を支援します。

## 社会貢献活動の柱

当社およびグループ各社は、以下の4つの分野を社会貢献活動の柱としています。

**福祉活動、地域・国際社会、環境活動、文化・芸術・教育**

### 福祉活動

#### ●手話講習会の開催

三井住友銀行では、耳の不自由な方への理解を深めることや店頭でのお客さまサービスの向上を目的とし、平成9年度より毎年、手話講習会を開催しています。平成20年度は125名の有志社員が10回の講座を受講しました。また、平成17年より毎年耳の不自由な講師による日常生活



での感じ方等に関する講演会を、手話通訳士による通訳のもとで開催しており、平成21年4月には約460名の社員が参加しました。

#### ●ボランティア体験講座の開催

三井住友銀行では、社員や家族が気軽にボランティアを体験できるイベントを開催しています。平成20年度は、「盲導犬・介助犬・聴導犬のデモンストレーションなどを通して障がいのある方のサポートの方法を学ぶ講座」「開発途上国の子どもの現状について学ぶとともに、三井住友銀行店頭等で受け付けている外国コイン募金の通貨別仕分け作業を行う国際協力セミナー」「災害時等の負傷者や急病の際に、三角巾やAEDを使って応急手当する方法を学ぶ講座」などを開催しました。このほか、ボランティアに関する各種情報を社員に案内し、積極的な参加を呼びかけています。



#### ●書き損じはがき、テレホンカード、切手等の募集・寄贈

当社では、グループ各社の社員から「書き損じはがき」を募集し、通信費としてボランティア団体に寄贈しています。また、三井住友銀行では「未使用テレホンカード」、三井住友ファイナンス&リース・SMBCフレンド証券では「ペットボトルのキャップ」、SMBCフレンド証券では「使用済み切手」をそれぞれ社内で収集し、ボランティア団体に寄贈しています。

#### ●高齢者支援団体への寄付

SMBCフレンド証券は、平成19年度より、社会貢献型ファンドの収益金の一部を、毎年、高齢者福祉・介護の理念に合う団体に寄付しています。

## 地域・国際社会

### ● ボランティア基金

三井住友銀行では、有志社員の給与から毎月一律100円を天引きして、国内外のボランティア団体等への寄付を行っており、1万1千名超が加入しています(平成21年5月)。また、グループ会社のさくらケーシーエスでも創立40周年記念事業の一環として平成21年4月にボランティア基金を創設し、社員の約7割に当たる約830名が加入しました。

三井住友銀行ボランティア基金が平成20年度に行った寄付事業の一部は、以下の通りです。

- \* 内戦の傷跡が残るクロアチアにて、子どもたちが放課後等を安全に過ごすホームを再建
- \* カンボジアでの民話絵本3,000冊の出版と図書館員の育成事業(平成14年より累計21,000冊)
- \* ラオスの小学校2校で学校図書室開設(平成14年より累計15校)と子ども文化センターを運営
- \* タイでの、子どもたちの栄養改善と経済的自立を目的とした小中学校で有機農業や魚の養殖事業
- \* 女性や子どもの栄養改善と感染症防止を目的とした、保健所スタッフのための研修会事業
- \* ミャンマーの経済的、社会的に困難な状況にある村の女性に対する裁縫訓練や識字教育
- \* バングラデシュ農村部における最貧困女性を対象とした少額の融資(マイクロファイナンス)事業や職業訓練等
- \* インドネシアにおける小中高校生への奨学金供与と乳幼児保健事業
- \* フィリピンにおける母親を対象とした識字クラスの開催と親子の栄養改善を目的とした有機農業研修事業
- \* 中国の経済困難な農村部における女子児童への奨学金供与
- \* 日本と中国の高校生を互いに招待し、学校訪問交流・ホームステイ・企業参観などを行う事業
- \* アフガニスタンの地雷被爆者など障がい者の方のためのリハビリテーションクリニックの建設費
- \* スーダンにおける学校の井戸やトイレなど水の衛生改善事業
- \* ブルキナファソの小学校における学校給食事業



- \* マダガスカル共和国において、戦災などで顔や身体に損傷を受けた方等を対象に日本人医師が無料で修復外科手術を実施
- \* 日本国内のターミナルステージにある小児難病児とご家族の思い出づくりの旅行等
- \* 日本国内のろう者と聴者が協同で創る人形劇団による小学校でのワークショップと公演招待等
- \* 日本手話で授業を行う日本初の学校における教育費用の一部
- \* 平成20年に出産された補助犬候補の子犬1頭の10カ月間の育成

このほか、緊急災害支援として、ミャンマー・サイクロン被害、中国・四川省大地震、岩手・宮城内陸地震、愛知県集中豪雨等への寄付を行いました。

### ● 大規模災害発生時の受付口座の開設・募金受付

三井住友銀行は、国内外の大規模災害発生時に、振込手数料無料の口座を開設し、お客さまからの募金受け付けを行っています。また社内、日本総合研究所でも社員に対し募金の呼びかけを行っています。

平成20年度は、ミャンマー・サイクロン被害、中国・四川省大地震、岩手・宮城内陸地震、愛知県集中豪雨について義援金口座を開設しました。

また、三井住友カードでは、中国四川省大地震の際、お客さまからのカード決済等による募金を受け付けました。

### ● ボランティアスタッフYUI(ゆい)の活動

三井住友銀行では、社員自らが企画立案を行う社内ボランティア組織「YUI」の支援を行っています。ろう学校での交流会、社員から集めた日用品のチャリティー販売、高齢者の方に歌を披露していただく晴れの舞台を演出するイベント、手づくり手芸品のチャリティー販売などを継続的に開催しています。



● SMBC 地域貢献プログラム



三井住友銀行では、全国の営業拠点が自ら企画し地域社会に貢献する活動を平成19年度より推進しています。

これまでに、支店周辺や野外での清掃活動、支店周辺の花や樹木の植樹、手話講習会、世界の子どもたちの絵画ロビー展、ロビーコンサートなどを行っています。

● ユニセフ(国際連合児童基金)等への支援

三井住友銀行は、ユニセフ外国コイン募金実行委員会のメンバーとして、同募金活動の運営に協力しています。同行の国内本支店・出張所の店頭で「外国コイン募金箱」を設置して協力を呼びかけ、集まった募金をグループ会社「SMBC グリーンサービス」の協力を得て各国通貨別に仕分けしユニセフに送っています。

また、普通預金の税引後利息をユニセフに寄付していただく「ユニセフ愛の口座」を取り扱い、三井住友銀行でもお客さまと同額の寄付をしています。



店頭で外貨募金を受け付けます。



各国通貨別に仕分けして、ユニセフに送ります。

三井住友カードをはじめとするVJAグループ各社の会員向けポイントサービス「ワールドプレゼント」を通じて、カード会員の方からの寄付金を毎年日本ユニセフ協会へ寄付しており、同制度を開始した平成4年からの募金総額は2.8億円を突破しています。平成20年からは、日本ユネスコ協会連盟、WWF ジャパン(世界自然保護基金)への寄付も行っています。また、「ユニセフVISAカード」や「赤い羽根VISAカード」など社会貢献型カードを発行し、各団体の活動資金として、カード利用額の一部を寄付・還元しています。

● TABLE FOR TWO への参加

三井住友銀行は、平成21年6月より、飢餓や栄養不良に苦しむ開発途上国の子どもたちと生活習慣病に悩む先進国の私たち双方の問題が同時に解決することを目指し、社員食堂でヘルシーメニューを購入すると、1食当たり20円が開発途上国の学校給食1食分として寄付される取り組みに参加しています。



● 中国の大学における奨学金制度

三井住友銀行は、中国において、蘇州大学や上海外国語大学への奨学金制度を設けています。

● SMBC GLOBAL FOUNDATION

米国を本拠とする同財団は、平成6年より7カ国延べ5,000名以上のアジアの大学生に奨学金を支給しています。また米国やカナダでも積極的な地域貢献活動を行っており、平成21年5月には、ニューヨーク市より、その功績を賞するとして同市長名で同年5月17日を「SMBC Day」と定める旨の宣誓書の授与を受けました。

● 三井住友銀行国際協力財団

開発途上地域の経済発展に資する人材の育成および国際交流を目的とし、平成2年の設立当初より毎年7~8名のアジアからの留学生に奨学金を支給しています。また、発展途上国に関する研究機関・研究者への助成を行っています。

環境活動

● 地域のクリーンアップ活動

当社では「SMFG クリーンアップデー」を定め、グループ各社の有志社員が海岸清掃に参加しています(平成20年度は117名)。

また、SMBC フレンド証券では、千葉・兵庫の2会場で独自に海岸清掃活動を実施し約200名が参加したほか、三井住友ファイナンス&リース、日本総合研究所でも事業所周辺の継続的な清掃活動に取り組んでいます。



### ● SMBC 環境プログラム C・C・C 富良野自然塾

三井住友銀行は、脚本家の倉本聡さんが北海道の富良野で実施する、閉鎖されたゴルフ場の跡地に苗を育て元の森に回復させる活動を支援しています。あわせて有志社員と家族が参加する現地体験ツアーも行っています。



### ● 自然保護団体の支援

日本総合研究所は、環境保全に積極的な企業を選定して投資する株式投資信託・エコファンドの企業選定に関わる環境活動調査を受託しており、この調査委託に関して受領した収益の一部を民間自然保護団体に寄付しています。

また、三井住友カードでも創立40周年記念事業として自然保護団体への寄付を行いました。

## 文化・芸術・教育

### ● こどもイラストコンクール

三井住友銀行では、平成19年度より、小学生を対象にイラストコンクールを行っています。平成20年度は約2,000作品が寄せられ、入賞者に応募作品入りのオリジナル通帳を作成したほか、入選作品集を同行の全支店に配布し、お客さまに閲覧いただきました。



### ● チャリティーコンサート「名曲のおもちゃ箱」

三井住友銀行では、平成18年度より戦争や災害などで傷ついた世界の子どもたちを支援するためのチャリティーコンサートを開催しています。社内の音楽クラブで、子どもから大人までが楽しめる多彩な音楽を演奏し、会場では募金受付や世界の子どもたちから寄せられた絵画の展示、社員の手づくり品のチャリティー販売などを行っています。平成21年6月には、東京都千代田区の日本大学カザルスホールにて第4回を開催し、多くのお客さまにご来場いただきました。



### ● 金融経済教育への取り組み

三井住友銀行は、銀行見学会の開催、書籍「銀行のひみつ」の発刊、ホームページ上での金融教育ゲームの展開、お仕事体験タウン「キッズニア」への協賛、大学での金融・経済に関する講義、インターンシップの実施など幅広く金融経済教育活動に取り組んでいます。三井住友カード、日本総合研究所でも、大学への講師派遣を行っています。



### ● インターンシップの実施

日本総合研究所・SMBCフレンド証券では、毎年、学生が自己の職業選択について考える契機となるインターンシップを実施しています。平成20年度では、それぞれ約50名、約20名の大学生を受け入れました。